

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事務事業コード	212019	事務事業名	離島航路対策事業費	事業の分類	ソフト事業
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	P 最重要・緊急プロジェクト	節(まちの姿)	P4 中山間地域振興プロジェクト	実施計画	×
	基本施策	P5-3 安心して誇りをもって暮らせる地域づくり	基本方向	路線バスや離島航路を運営する公共交通事業者に対して、引き続き運営費の一部を支援することにより、安定的な運営を確保します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	暮らしを守る生活交通の維持・確保			【実施なし】	%
	推進施策の展開	路線バスや離島航路の利用者が減少する中、経営の効率化を図る事業者の取り組みを支援するとともに、移動手段を持たない高齢者等の暮らしを守る新たな生活交通システムの導入を、地域や交通事業者等と連携して進めます。			25年度市民評価の満足度	%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 大津島巡航株式会社が運航する離島航路	意図(どういう状態にしたい): 離島航路を安定的に維持することができる	事業の内容(手段)	大津島～徳山航路の運航によって生じる欠損額の一部を補助することによる、航路経営の安定化を図る。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】	旅客者数	項目		単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)						
			直接事業費	千円	86,270	92,987	135,680	109,573	93,000							
事業目標	目標名	旅客者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	21,859	23,351	59,126	43,496			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	84,404	91,830	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	128,000.0	128,000.0	128,000.0	128,000.0	128,000.0		(決算額) うち一財	千円	21,431	22,811	大津島巡航の実績により、補助金額が変動するため。		船舶買取補助金の交付が無くなるため		
	実績値	118,633.0	123,979.5	112,055.5				正職員人件費	千円	5,054	1,849					
	達成度(%)	92.7%	96.9%	87.5%				人工数	人	0.69	0.25	0.39				
							支出コスト	千円	決) 89,458	決見) 93,679						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類										正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時嘱託
	①	地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価(ソフト事業)	周南市と大津島巡航(株)が行う事務事業	離島航路確保維持計画に関し、山口県生活交通確保維持改善協議会に事業評価書を提出する。	島の過疎・高齢化に伴い、毎年利用者が減少する中で、航路を維持するためには、効率的な運航を図るよう改善していく。	効率的な運航体制については、島民の利便性を第一に考え検討している。	0.02		0		否	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 9便から7便に減便したが、引き続き島内交通を充実させ、寄港地の集約が必要。						B	改善案	「大津島～徳山航路改善計画」に従い、効率的な運航を図るよう改善する。						
②	指定区間及びサービス基準に関する事務(ソフト事業)	周南市と大津島巡航(株)が行う事務事業	大津島～徳山航路の運航日数、運航回数等のサービス基準に対して意見を述べる。	指定区間及びサービス基準に関する調査に市としての意見を踏まえる。	見直し案に同意と回答	0.02		0		否	否					
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						A	改善案								

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
事業を構成 する細事業 【26年度実績】	③ 山口県生活交通確保維持 改善協議会事務 (ソフト事業)	周南市と大津島巡航株式 会社が行う事務事業	離島航路確保維持計画の 承認	県の国庫補助対象航路は14航路運 航しているが、島民にとって唯一の 公共交通機関であり、その維持に公 的支援を求めている。	協議会に係る資料の作成し、協議会 に出席。計画を承認する。	0.02		0	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価					
	A	改善 案								
	④ 大津島巡航株式会社の経 営状況市議会報告事務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	地方自治法第243条の3第 2項及び地方自治法施行 令第173条第1項の規定	経営状況を市議会に提出する。	事業報告書及び事業計画書に関わ る説明資料を作成する。	0.1		0	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価					
	A	改善 案								
	⑤ 国庫補助航路検査事務 (ソフト事業)	周南市と大津島巡航株式 会社が行う事務事業	国庫航路補助金に係る監 査のため、決算内容につ いて監査を受ける。	国庫航路補助金に係る監査で指摘 を受けないよう事務の改善を促す。	欠損額申請内容と元帳簿、収入、支 出証票との照合、確認等に立ち会 う。	0.02		0	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価					
	A	改善 案								
	⑥ 航路経営改善事務 (ソフト事業)	周南市と大津島巡航株式 会社が行う事務事業	住民と合意形成を図りなが ら、航路の運航内容の見 直しに取り組む。	将来の欠損増大・経営破たんを回 避し、効率的な運行体制、大津島巡 航の経営改善、地域振興等との連 携した利用促進を図る。	自治会長説明会を開催する。住民、 事業所等からの意見聴取を実施繼 続中。	0.03		30	否	否
細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 住民ニーズを把握しながらの航路の見直しが必要			細事業評価 「大津島～徳山航路改善計画」に従い、航路の見直しを行う。						
B	改善 案									
⑦ 離島航路運営賞補助金事 務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	大津島巡航㈱より、補助金 の交付申請書、事業実績 報告書を受理し欠損額の 一部を助成する。	航路の維持と安定的な運行を確保 し、大津島住民の生活の利便性の 向上を図る。	大津島巡航㈱へ欠損額の一部を助 成した。	0.04		91,800	否	否	
細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 減便による支出の削減はできたが、燃料費の高騰が経営を圧迫している。			細事業評価 業務の効率化による支出額抑制は当然であるが、計画に従った見直しを 継続する。						
B	改善 案									

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<p>大津島巡航の欠損額は増加傾向にあるが、人員の見直しなど経費の削減に努めている。また、平成23年3月に「大津島～徳山航路改善計画」を策定し、さらなる経営改善に努めている。</p> <p>平成25年度には更なる運航経費の削減のため、一日9便の運行から7便への減便を実施した。</p>	前年度までの指摘事項	<p>【委員会評価】</p> <p>行財政改革大綱に掲げられた事業である。現在検証中の島内交通システムの実現とともに、寄港地・便数等を見直し、経営改善を図るほか、関係課が進める島おこし施策と連携し、利用者の増加に努める等、「航路改善計画」を着実に実行されたい。</p> <p>【議会決議】</p> <p>島民の唯一の生活交通手段の確保から必要な事業である。航路の安定的維持のために支援を継続する必要があるが、乗船者数は回天記念館などの島の観光や島おこしも密接にかかわっているため、経営改善を見据えた関係各課との連携により、利用者の増加に努めるべきである。また、費用対効果を度外視できないが、寄港地や島内移動手段の見直しなども一考されたい。</p>	指摘事項に対する改善状況	<p>欠損額を補助することにより、航路の安定的な維持確保に努める。運航態勢の見直しに関する協議のため、市内出張旅費を増やした。</p> <p>島内交通を充実させたのち、地区交通住民と合意形成を図りながら、航路の安定的な維持、存続を図るため航路の運航内容の見直しに取り組む。</p>
	細事業の課題・問題点	<p>「大津島～徳山航路改善計画」の基本方針である</p> <p>①徹底した支出の削減 ②島おこし施策との連携 ③利用者ニーズに対応した運航と島内交通の充実</p> <p>に向けて大津島地区住民、大津島巡航株式会社、市及び関係機関が協働して航路の維持・改善に取り組む必要がある。</p>	事業全体の課題・問題点	<p>大津島～徳山航路の安定的な維持、存続を図るためには、増収策や経費節減による大津島巡航株式会社の経営改善が必要である。利用者数の増加策としては、島の人口をすぐに増やすことは難しいことから島外からの交流人口を増やすことが航路維持に大変重要である。島の振興策として体験型宿泊施設「海の郷」の整備がおこなわれたこともあり25年度以降の利用者増を見込んでいる。そうした島おこしと連携し、来場者の増加を図っていく必要がある。節減は、他の航路と比較して人口の割には寄港地と便数が多いということから、寄港地の整理並びに減便について島での話し合い等を開催しながら、施策をすすめていく必要がある。</p>		

所管課評価

評価	B	<p>A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等を見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討</p>	評価理由	7便への減便を実施したが、引き続き大津島巡航の経営改善が必要なため。	改善案	「航路改善計画」を基本とし、大津島住民や大津島巡航と協議し、合意形成を図りながら、引き続き運行体制の見直しに取り組み、運営の効率化と航路の維持に取り組む。
----	---	--	------	------------------------------------	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	引き続き、大津島の状況や利用者の声などの状況を勘案しつつ、航路の運営の効率化・維持に努める。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成28年度当初予算に反映させた項目はないが、引き続き大津島巡航と連携して航路経営の改善に取り組む。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 生活安全課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	212020	事務事業名	離島高齢者航路運賃助成事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI1 ひと・もの・情報が交流する	実施計画	×
	基本施策	VI14 交通体系の充実	基本方向	生活交通の維持確保を図るとともに、市民が利用しやすい公共交通体系づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	生活交通の維持・確保			【実施なし】	%
	推進施策の展開	航路を安定的に維持できるよう支援に努めます。			25年度市民評価の満足度	%
					【実施なし】	%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 75歳以上の大津島島民	意図(どういう状態にしたい): 大津島地区の高齢者の生きがいや健康を維持することができる。	事業の内容 (手段)	大津島における75歳以上の高齢者が、大津島巡航を利用する場合の利用券の交付。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	平成26年度使用済利用券枚数:3,134枚						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】													
事業目標	目標名	申請率	計算式	年間申請率(申請者数/対象者数)	単位	%	事業費	直接事業費	千円	2,907	2,959	2,492	2,132	2,500
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	2,907	2,959	2,492	2,132	2,500
	目標値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0		直接事業費	千円	2,368	2,263		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	87.5	81.0	76.7				(決算額) うち一財	千円	2,368	2,263			
	達成度(%)							正職員人件費	千円	220	222			
						人工数	人	0.03	0.03	0.08				
						支出コスト	千円	決) 2,588	決見) 2,485					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 離島高齢者航路運賃助成事務 (ソフト事業)		周南市が行う事務事業	大津島地区在住の75歳以上の高齢者に航路運賃の助成をする	高齢者の外出の機会を増やし、元気に過ごしてもらう。	交付者台帳を作成し、申請書を受理し利用券を交付する	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	可	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成26年度申請人数:155人(対象者:202人、申請率:76.7%)				A	改善案						
	② 離島高齢者航路運賃助成事業委託事務 (ソフト事業)		大津島巡航(周南市が行う事務事業)	大津島巡航が運航する航路を利用した際の運賃助成業務を行う。	大津島地区に住所を有する75歳以上の高齢者に多く利用してもらう。	大津島巡航と委託契約を締結し、仕様書通りの事業を進める	0.01		0	可	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成26年4月1日に委託契約締結				A	改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③	運賃助成事業委託料支払事務 (ソフト事業)					周南市が行う事務事業	支払請求書に利用券を添えて受理する	毎月の業務完了後、翌月の10日までに支払請求書に利用券を添えて受理する	審査の上委託料を支払う	正職員	臨時等
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成26年度支払委託料:2,225,140円					細事業評価					
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	利用率が目標値(80%)を超えている。大津島の高齢化が進行している。	前年度までの指摘事項	【委員会評価】利用率は高く目標を上回っており、島内高齢者の外出機会の増加に効果が認められる。 【議会決議】高い利用率でもあり、離島の高齢者の生きがいがづくり、健康維持のために事業を継続すべきである。ただし、交付の基準、方法については拡充も念頭に置いて、見直しを検討されたい。	指摘事項に対する改善状況	高齢者の外出の機会を増やし、元気に過ごしてもらうための施策として維持継続していく。引き続き要綱に沿って活用し、PRに努めていく。
	細事業の課題・問題点	特になし。		事業全体の課題・問題点	病院入院等の理由で、交付率が100%にはならない。	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	対象住民で、病院入院等されていない方については、概ね申請を頂き利用券の配布ができています。	改善案	申請漏れ等が発生しないように、引き続き大津島支所と連携して、対象住民への制度の周知を図る。
----	---	--	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
利用券の申請率や使用率を参考にし、委託料の金額を算定している。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事務事業コード	212021	事務事業名	地方バス路線維持対策事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VII ひと・もの・情報が交流する	実施計画	×
	基本施策	VI14 交通体系の充実	基本方向	生活交通の維持確保を図るとともに、市民が利用しやすい公共交通体系づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)生活交通の維持・確保			公共交通機関の利便性	41.00%
	推進施策の展開	不採算バス路線については、路線の存続を図る。			25年度市民評価の満足度	
					公共交通機関の利便性	40.70%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 公共交通(バス路線)利用者	意図(どういう状態にしたい): 最も身近な公共交通機関であるバス路線を維持することができる。	事業の内容(手段)	バス路線の存続を図るための助成		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		補助対象バス路線の平均乗車密度					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
【26年度】									直接事業費	千円	118,416	123,019	126,657	128,922	126,657		
								(予算額) うち一財	千円	88,731	93,068	93,527	92,481	96,027			
事業目標	目標名	平均乗車密度	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	直接事業費	千円	110,081	111,666		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	81,261	81,967						
	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		正職員人件費	千円	586	592						
	実績値	2.1	2.6	2.5				人工数	人	0.08	0.08	0.12					
	達成度(%)	42.0%	52.0%	50.0%				支出コスト	千円	決) 110,667	決見) 112,258						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類											正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①	地域間幹線系統確保維持計画等に関する事務評価(ソフト事業)	周南市が行う事務事業	地域間幹線系統確保維持改善事業による支援を受けた事業の実施状況の確認、評価を行う。	事業が計画通り適切に実施されているかどうか確認・評価し、承認する。	地域間幹線系統確保維持計画等に関する事業評価に対して審議し、承認。	0.01		0	否	否						
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A		改善案								
②	山口県生活交通確保維持改善協議会事務(ソフト事業)	周南市が行う事務事業	地域間幹線系統確保維持計画の承認、生活バス交通運行計画の承認	広域的・幹線的なバス路線の維持を図り住民福祉の向上を図る。	協議会に係る資料の作成し、協議会に出席。計画を承認。	0.03		0	否	否							
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A		改善案									

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否	
	③	山口県生活バス路線対策事業費補助金事務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	補助対象路線の維持のため引き続き県に補助金の申請をおこなう。	生活交通が危機に瀕している地域において基幹的な広域路線の確保維持を図る。	山口県生活バス路線対策事業費補助金の交付申請し、交付決定後、請求書を提出。	0.01		25,399	否	否	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
④	地方バス路線維持対策事業費補助金事務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	バス事業者から、補助金の交付申請書、事業実績報告書を受領し、欠損額の一部を助成する。	不採算バス路線に対する助成をおこなない、路線の維持確保を図る。	防長交通へ欠損額の一部を助成。	0.03		86,267	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
課題・問題点	少子高齢化や過疎化の進行、モータリゼーションの進展等により、路線バスの利用者は年々減少し、交通事業者の経営は厳しさを増している。減便や路線の短縮などサービス水準を低下させ、更に利用者が減少するという悪循環に陥っている。					前年度までの指摘事項	関係機関や庁内関係課と連携をとり、利用促進に努める。また、引き続き運行体制の見直しに取り組む必要がある。		指摘事項に対する改善状況		交通事業者と定期的なミーティングを実施し、協働して利用者獲得についての検討を行っている。引き続き、ミーティングを行い計画的な改善に向けた取組を実施する。	
課題・問題点	少子高齢化の進展により、今後ますます旅客の減少が予想されている。収益を支える路線が少なく、赤字路線を支え収益を生む付帯事業(観光バス、高速バスなど)も規制緩和(平成14年～)により貸切バス事業への新規参入が容易になり、従来のように収益を路線バス事業にまわすこともできない状態にある。					事業全体の課題・問題点	市民生活に最も身近な交通手段であるバス路線を維持・存続させていくためには、市民や交通事業者の協力のもと、路線バスの利用促進に努めていかなければならない。そのためには、特に自家用車や免許のない高齢者や18歳以下のいわゆる交通弱者の方が、バスを利用しやすくなる取り組みが必要。一方、マイカー利用者の方を路線バス利用に転換をさせるような効果的で即効性のある施策が見い出せない状況にある。					

【評価】 Check

所管課評価													
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討		評価理由	バス路線の欠損額を減少させるには、利用者を増加させることが必要。また、利用者が極端に少ない路線については新たな交通手段についての検討を要す。			改善案	○効果的な利用促進施策をバス事業者と連携し実施。 ○地域の特性に合った様々な運行について検討を行う。				

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	現行のバス路線を維持させつつ、関係機関と連携しながら利用者増加に向けた取組を実施する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
引き続き利用促進による利用者の増加に向けた取組を行うとともに、路線バスの欠損額については国、県と分担し生活交通の維持確保を図る。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事務事業コード	212023	事務事業名	生活交通活性化事業費	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	P 最重要・緊急プロジェクト	節(まちの姿)	P4 中山間地域振興プロジェクト	実施計画	×
	基本施策	P5-3 安心して誇りをもって暮らせる地域づくり	基本方向	路線バスや離島航路を運営する公共交通事業者に対して、引き続き運営費の一部を支援することにより、安定的な運営を確保します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	暮らしを守る生活交通の維持・確保			【実施なし】	%
	推進施策の展開	路線バスや離島航路の利用者が減少する中、経営の効率化を図る事業者の取り組みを支援するとともに、移動手段を持たない高齢者等の暮らしを守る新たな生活交通システムの導入を、地域や交通事業者等と連携して進めます。			25年度市民評価の満足度	%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 地域における生活の利便性を高めることができる。	事業の内容(手段)	鹿野地区等における、乗合タクシー等の運行 大津島地区における島内交通の充実 不採算バス路線の見直しや、新たな交通システム導入についての検討 既存の公共交通機関の利用促進		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	乗合タクシー利用回数						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】								直接事業費	千円	23,979	17,424	19,202	19,176
								(予算額) うち一財	千円	7,870	7,424	9,202	8,493	9,202
事業目標	目標名	利用回数	計算式	年間利用回数	単位	回	事業費	直接事業費	千円	22,247	17,454		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	6,279	7,454			
	目標値	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0		正職員人件費	千円	3,443	5,990			
	実績値	1,477.0	1,226.0	1,448.0				人工数	人	0.47	0.81	0.40		
	達成度(%)	73.9%	61.3%	72.4%				支出コスト	千円	決) 25,690	決見) 23,444			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	路線バスの利用促進事務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	路線バスの利用促進	超高齢少子社会の進展や過疎化の進行により、不採算路線が多いため、既存バス路線の利用率の向上を図る。	ノーマイカーデーの実施。バス教室の開催。啓発イベントの開催。ホームページ等による情報発信。	0.11		468	否	否			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
(1) ノーマイカーデーの実施：参加登録をする事業所を増やす必要がある。 (2) バス教室等の開催：バス会社の協力で実施。熊毛公民館高齢者学級で開催。即効性が低いことが難点。						B	改善案	内容を見直しながら、継続して実施していく。						
②	バス路線の見直し事務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	路線バスの利用促進	利用者のニーズやまちの変化に応じて、路線やダイヤの見直しを行い、常に利便性を高めていく。	市民ニーズの把握に努め、定例ミーティングを実施し、バス事業者と連携を図りながら検討。	0.4		0	否	否				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
利用者のニーズや商業施設の立地などまちの変化に応じた路線やダイヤの見直しを検討。常に利用者目線に立って利便性を確保しながら効率のよい運行を目指す。ただし、見直したことで不便になる方や利用できなくなる方がおり住民への理解が必要。						B	改善案	積極的に市民ニーズの把握に努め、全ての利用者の代替手段を確保しながらバス事業者と調整・要望をしていく。						

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
事業を構成 する細事業 【26年度実績】	③ 鹿野地域等乗合タクシー 運行事務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	乗合タクシーの運行	鹿野地域住民の生活交通手段を確保する。	地元のタクシー会社「富士タクシー」と委託契約を締結し、仕様書どおりの事業を進める。	0.07		10,931	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 運行開始後、年々利用者は減少している。減少している要因分析が必要。			B	改善案	利用者実態調査を実施し、利用者のニーズを把握に努め運行内容の充実を図る。			
	④ 大津島地区生活交通運行 事務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	新しい交通システムの導入	住民の移動手段として、現在運行している患者輸送車を補完するため、増車して島内交通の充実を図る。	地元の「保健組合」と委託契約を締結し、地元と協議しながら運行内容を定め、事業を進める。	0.04		5,945	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 利用の維持・促進を図っていく必要がある。			B	改善案	住民ニーズを把握しながら、路線維持を図る。			
	⑤ 地域交通実証運行事務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	新しい交通システムの導入	公用車等を貸与し実証運行を実施。地域に合った交通システムを主体的に構築していけるよう支援する。	地域住民と協議しニーズを把握するため実証運行を実施。	0.15		110	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 本格運行に向け、運行内容、運行組織、運行形態、車両の確保などの検討課題がある。			B	改善案	地域特性に合った交通システムを地域が主体的に構築し持続継続的な運行が実施できるように支援する。			
	⑥ 鉄道に関する事務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	利用促進	JR西日本と行政の連携を深めて在来線の利用促進を図っていく。	JR西日本への要望をとりまとめ提出する。鉄道利用懇話会へ出席する。	0.03		0	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 在来線における利用者の減少が課題。広域的な交通であるため他市との連携が必要。			B	改善案	関係各課、商工会議所、市内の高校等へ照会し、意見集約したものを県に提出している。県内においてもJRと県、市の担当者で意見交換する「利用促進懇話会」が開催され、積極的に市民ニーズの把握に努め、JRへ調整・要望をしていく。			
	⑦ タクシーに関する事務 (ソフト事業)	周南市が行う事務事業	利用促進	地域公共交通機関としてのタクシーのあり方等について「特定地域協議会」で協議し地域計画の作成やそのフォローアップを実施する。	タクシー特定地域協議会へ出席する。	0.01		0	否	否
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 タクシー事業においても輸送人員は減少しており、地域の公共交通機関として維持確保が必要。			B	改善案	地域社会の活力の維持にも資する公共交通機関であることから、引続き情報交換していく。			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成19年10月 鹿野地域で乗合タクシーを導入 平成25年4月 八代地区において「友愛便」実証運行の開始 平成25年9月 大津島航路の減便に合わせ、島内交通の充実 平成26年10月 大道理地区において「もやい便」実証運行の開始	前年度までの指摘事項	【委員会評価】 行財政改革大綱に掲げられた事業である。今後、高齢化が進む中で日常の生活手段の確保が特に急がれるところであり、各地域の実情等も考慮するなかで、早急にシステム化を図りたい。 また実施中である鹿野地域乗合タクシーについては、利用促進やコスト削減に努められたい。 【議会決議】 中山間地域が特に必要としている生活交通手段への取り組みは不可避であるが、生活交通として各地区の状況は異なっている。特に、診療・買物を目的とした要望が強いが、複雑多様化している地域ニーズをしっかりと調査して、地域の実情に合った新たな交通システムを早期に検討すべきである。	指摘事項に対する改善状況	鹿野地域等乗合タクシーにおいては、利用者戸別訪問調査を実施し、ニーズを把握し運行率用の充実を図った。 大道理地区において実証運行を開始し、ニーズ把握に努め、地域に合った交通システムの構築についての検証を行った。
	細事業の課題・問題点	新たな交通システム導入を検討する際には、財源の確保や既存の公共交通機関の妨げにならない運行を考える必要がある。 また、生活交通システムの導入を検討する地域においては、実証運行を実施し一定の利用者の確保ができるような形態を地域住民(利用者)が主体的に構築していけるよう支援していくことが必要。	事業全体の課題・問題点	主に中山間地域における生活交通を確保することが必要。路線バスにおいては人口減少やマイカーの所有者の増加によって利用者は減少しつづけており、新たな交通システムを構築しなければならない。また、バスに限らず公共交通機関全般において利用者が減少しており、今後の人口減少を見据えた抜本的な取り組みが必要。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	中山間地域を中心とした公共交通利用者の減少に歯止めが掛からず、新たな交通システムの構築が必要。また、バスに限らず公共交通機関全般の利用者が減少しており、今後の人口減少を見据えた抜本的な改善が必要。	改善案	○持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、関係者によって組織された協議会により、検討を行う。 ○将来の交通マスタープランとして「地域公共交通網形成計画」の策定。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	交通事業者、利用者・住民等様々な関係者により組織された団体によって、生活交通の維持確保に向けた取り組みを検討する必要がある。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
中山間地域の新たな生活交通のとして「大道理もやい便」の運行を開始した。運行にあたっては国庫補助金の活用や利用者負担金により運行経費を分担した。(収入増:生活交通利用者負担金106千円、地域公共交通確保維持改善補助金557千円)	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事務事業コード	212030	事務事業名	駅前トイレ管理事業	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI14 交通体系の充実	基本方向	生活交通の維持確保を図るとともに、市民が利用しやすい公共交通体系づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	公共交通機関の充実			【実施なし】	%
	推進施策の展開	全ての人が利用しやすい環境づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 駅利用者及び周辺住民	意図(どういう状態にしたい): 駅周辺において、市民が利用しやすい環境を維持することができる。	事業の内容(手段)	高水駅前トイレ及び勝間駅前トイレの管理を行う		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	高水駅前トイレ、勝間駅前トイレの管理を行う						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	【26年度】													直接事業費	千円
事業目標	目標名	苦情件数	計算式	件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円	355	369	369	369	369		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	374	382		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0		(決算額) うち一財	千円	374	382					
	実績値	0.0	0.0	0.0			正職員人件費	千円	73	74					
	達成度(%)	0.0%	0.0%	0.0%			人工数	人	0.01	0.01	0.01				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否				
	①	高水駅前トイレ、勝間駅前トイレの管理事務 (施設管理運営事業)	施設利用者	高水駅前トイレ、勝間駅前トイレの管理を行う	清掃等の委託を行う	高水駅前トイレ、勝間駅前トイレを適正に管理する	正職員	臨時等	382		委託	臨時嘱託			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	②							A	改善案						
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	④											
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<勝間駅前トイレ> 駅前に併設されていたJR所有の建物が撤去され市がトイレを整備。 平成25年度、トイレが破損され監視カメラを設置。(警察署管理、電気代市負担)	前年度までの指摘事項	駅前トイレの適切な維持管理に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	駅前トイレの維持管理を実施
	細事業の課題・問題点	利用実態を把握できていないが、数値で利用実績を計れる事業でもない。		事業全体の課題・問題点	維持・管理コストを適正に支出していくことが必要	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	引き続き駅前環境の整備に努める。	改善案	
----	---	--	------	------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	引き続き適正な管理に整備に努める。
----	---	-------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
駅利用者の利便性の確保のため、引き続き適正な管理を実施する。	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明				
事務事業コード	464007	事務事業名	超低床ノンステップバス導入事業費	事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VII ひと・もの・情報が交流する		実施計画	○
	基本施策	VI14 交通体系の充実	基本方向	生活交通の維持確保を図るとともに、市民が利用しやすい公共交通体系づくりを進めます。		20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2)生活交通の維持・確保				【実施なし】 %	
	推進施策の展開	超低床ノンステップバスの導入支援等による公共交通のバリアフリー化を図り、すべての人が利用しやすい交通環境づくりを推進します。				25年度市民評価の満足度	
	【実施なし】 %						
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 防長交通株式会社	意図(どういう状態にしたい): ノンステップバスを導入することで交通環境のバリアフリー化を推進することができる。	事業の内容(手段)	市内バス路線への超低床ノンステップバス導入に対し、車両等購入費の一部を助成する。			

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	本事業による導入台数								直接事業費	千円	486	0	0	0
							(予算額)うち一財	千円	486	0	0	0	0	
事業目標	目標名	補助車両数	計算式	台数	単位	台	直接事業費	千円	0	0			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額)うち一財	千円	0	0				
	目標値	1.0	1.0				正職員人件費	千円	0	0				
	実績値	0.0	0.0				人工数	人	0.00	0.00	0.00			
	達成度(%)						支出コスト	千円	決)0	決見)0				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費		委託		臨時嘱託	
	①	超低床ノンステップバス導入補助金事務(ソフト事業)	周南市が行う事務事業	周南市の補助金交付を決定する。	国及び山口県からの交付決定を受け、周南市の補助金交付を決定する。(協調補助)	バス事業者より、補助金の交付申請書、事業実績報告書を受理し、補助金を交付する。	0		0					
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 現在、バス事業者が、別の補助事業を使ってノンステップバスを導入しているため、市からの補助が不要。				D	改善案	バス事業者が当補助事業を利用しているのバスの導入をするまで、事業を休止する。						
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他								細事業評価					
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題							改善案				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	防長交通(株)が、別の補助事業を利用してノンステップバスの導入を進めているため、平成25年度の補助実績はない。	前年度までの指摘事項	ノンステップバスの導入に関しては、バス事業者と調整し効率的な導入に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	対象経費の確定により補助金額を変更した。
	細事業の課題・問題点	特になし		事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	D	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	平成25年度以降実績がなく休止の検討が必要	改善案	国の動向を見極め事業を休止する
----	---	--	------	-----------------------	-----	-----------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	D	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
交通事業者が有利な国庫補助メニューを活用しノンステップバスの導入を進めており市の支出はない。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事務事業コード	611005	事務事業名	防犯関係事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV11 防犯の推進	基本方向	警察署や地域組織等と連携、協力して、防犯教育や防犯活動を推進し、安全な環境づくりに努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	防犯運動の推進			【防犯や交通安全対策の推進】	41.10%
	推進施策の展開	防犯協議会等の関係団体と連携し、防犯教育を推進します。			25年度市民評価の満足度	【防犯や交通安全対策の推進】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 誰もが安心して暮らせるまちづくりを実現する。	事業の内容(手段)	○啓発・広報活動による市民の防犯意識の高揚を図る。 ○周南市空き家等の適正管理に関する条例(平成25年10月施行)に基づき、空き家等の管理の適正化を図る。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○ 関係機関と連携をとりながら防犯運動に関する各種啓発・広報活動を行った。 ・「犯罪のないまちづくり県民大会」に関係職員や団体(老人クラブ、婦人会)が参加。 ○「周南市空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、空き家等の管理の適正化を図った。平成26年度末までの管理不全相談件数48件のうち解決件数10件。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	4,702	4,702	5,716	5,938		5,938						
事業目標	目標名	管理不全空家の解決率	計算式	解決件数(累積)/管理不全空家相談件数(累積)×100	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	4,702	4,702	4,700	4,922	4,922
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	4,680	4,628	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値			20.0	20.0	20.0	(決算額)	うち一財	千円	4,680	4,628			
	実績値			20.8			正職員人件費	千円	8,790	1,627				
	達成度(%)			104.0%			人工数	人	1.20	0.22	1.36			
							支出コスト	千円	決) 13,470	決見) 6,255				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	防犯協議会運営費補助 (ソフト事業)	防犯関係団体	防犯団体に対して活動費補助を行い、安心安全なまちづくりを推進する。	防犯団体に対して活動費の補助を行うことにより、安心安全なまちづくりを進める。	周南防犯協議会及び光地区防犯団体連合会に対して補助金を支出した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.02		3,852	否	可			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 対象団体は他に財源が見込めないため、組織を運営するために必要な補助ではあるが、補助内容の精査が必要。						細事業評価							
②	防犯に関する啓発・広報 (ソフト事業)	市民	啓発・広報活動を通じて、市民の防犯意識の高揚を図る。	啓発・広報活動を通じて、市民の防犯意識の高揚を図る。	チラシ等の配布「犯罪のないまちづくり県民大会」への参加	0.05	0.2	15	否	可				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
						A	改善案							

	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時囑託
事業を構成する細事業【26年度実績】	③	空き家等の管理の適正化	空き家の所有者等	市民の生活環境の保全及び安心安全な生活の確保を図り、もって公共の福祉に寄与することを目的とす	条例の手順に沿って、管理不全の空き家の解消を図る。	平成26年度末までの管理不全相談件数48件のうち解決件数10件。	0.15	0.7	761	否	可
		(ソフト事業)									
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他		細事業評価						
			国において、平成27年5月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が全面施行された。一方で、本市においては、平成25年10月に「周南市空き家等の適正管理に関する条例」を施行していることから、法律との整合性を確認の上、条例の改正や廃止等の検討が必要。		B	改善案	法律と条例の整合性を確認の上、条例の改正等の検討。空き家問題の解消に向けて、予防、活用、適正管理、危険家屋の判定、除去等を一体的に取り組める組織の検討。				
	④										
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	関係機関と緊密に連携して、事業を推進していく。	指摘事項に対する改善状況	防犯に関しては、引き続き、関係機関と連携し事業を推進していく。
課題・問題等	事業開始からの環境変化	○防犯に関しては、特記事項なし。 ○所有者の高齢化や遠方にすんでいるなどの理由により適正に管理がされていない空き家が増えていることから、「周南市空き家等の適正管理に関する条例」を平成25年10月に施行した。国においては、平成27年5月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が全面施行された。			
	細事業の課題・問題点	○防犯協議会運営費補助については、組織を運営するために必要な補助ではあるが、補助内容の精査が必要。 ○空き家等の管理の適正化については、法律の施行に伴い、条例の改正等の検討が必要。	事業全体の課題・問題点	関係機関との連携強化	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案	○関係団体への補助内容の精査。 ○条例の見直しの検討を行うとともに、空き家問題の解消に向け、予防、活用、適正管理、危険家屋の判定等を一体的に取り組める組織の検討。
			安心・安全なまちづくりのために必要な事業ではあるが、関係団体への補助内容の精査や空家等対策の推進に関する特別措置法全面施行に関連した条例の見直しの検討が必要。		

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり。
----	---	------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400301
分野	4安心安全
基本施策	3市民生活の安全性の向上
推進施策	(1)防犯運動・交通安全運動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
空家等対策の推進に関する特別措置法が、平成27年5月26日に全面施行されたことに伴い、周南市空き家等の適正管理に関する条例について、平成28年3月議会において、所要の改正を予定。

備考

空き家等の管理の適正化の推進生活施策は、「安全な環境づくり」。

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名		環境生活部・生活安全課		評価者 (課長)	山本 次雄		評価責任者 (部長)	野崎 俊明	
事務事業コード	611015	事務事業名	防犯灯設置費補助事業	事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全		節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる			実施計画	○	
	基本施策	IV11 防犯の推進		基本方向	警察署や地域組織等と連携、協力して、防犯教育や防犯活動を推進し、安全な環境づくりに努めます。	20年度市民評価の満足度				
	推進施策	防犯対策の充実				【防犯や交通安全対策の推進】	41.10%			
	推進施策の展開	防犯灯の設置を推進します。				25年度市民評価の満足度				
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 自治会		意図(どういう状態にしたい): 地域の夜間における安全性の確保を図り、犯罪を未然に防止する。		事業の内容(手段)	自治会等が防犯灯を新設・補修する費用の一部補助。				
						【防犯や交通安全対策の推進】				48.10%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		自治会が行う防犯灯設置等の費用の一部に対して助成を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
【26年度】	目標名	防犯灯設置費補助の件数		計算式	防犯灯設置費補助の件数		単位		件	直接事業費	千円	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(予算額) うち一財		千円	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	
事業目標	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	19,910	19,300			対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	目標値	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	(決算額) うち一財	千円	19,910	19,300						
	実績値	536.0	1,055.0	1,038.0			正職員人件費	千円	1,026	1,035						
	達成度(%)	178.6%	351.6%	346.0%			人工数	人	0.14	0.14	0.14					
							支出コスト	千円	決) 20,936	決見) 20,335						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類										正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①	防犯灯設置費補助金受付事務 (ソフト事業)	自治会	自治会が防犯灯を設置する場合に、経費の一部を補助し、地域の防犯に寄与する。	LED防犯灯の普及により、安心安全な地域環境をつくる。	事業目標を達成し、各自治会への設置補助を行った。	0.14		19,300	否	可					
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
②							A		改善案	自治会からの申請状況やLED灯の価格動向を注視し、補助内容を見直しながら事業を継続する。						
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									
									改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	③									
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
							改善案			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
							改善案			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	LED防犯灯のLED化については、平成23年度末約3% (290灯)、平成26年度末約32% (2,919灯)、平成27年度末見込約40% (3,700灯)である。(市内の防犯灯の灯数は、平成23年度自治会長アンケート調査によると、約9,000灯である。)	前年度までの指摘事項	各自治会に対して効率的な補助を行い、引き続きLED灯の普及を促進する。	指摘事項に対する改善状況	1自治会当たりの灯数制限を設けながら、市内全体に普及できるよう取り組んでいる。
	細事業の課題・問題点	特になし。長寿命のLED防犯灯への移行は、着々と進んでいる。		事業全体の課題・問題点	特になし。長寿命のLED防犯灯への移行は、着々と進んでいる。	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	1自治会当たりの灯数制限を設けながら、市内全体に普及できるよう取り組んでいる。自治会からの申請状況やLED灯の価格動向を注視し、必要な時は補助内容の見直しを行う。	改善案	
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	LED防犯灯について、市内全体に広く普及できるよう取り組んでいく。
----	---	-----------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400301
分野	4安心安全
基本施策	3市民生活の安全性の向上
推進施策	(1)防犯運動・交通安全運動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
市全域において、防犯灯のLED化を進めるため、自治会の申請灯数に上限を設けているが、LED化へ積極的な自治会を支援するため、上限を3灯から6灯とする。 (変更理由) 平成27年度の申請実績(H28.1月末時点)において、1、2灯が約64%であることと、LED化率が約43%(H28.3月末見込)と上昇してきており、今後、申請割合が緩やかになると予測されることから、前年度予算額で対応可能と考えるため。	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	621008	事務事業名	自転車駐輪場対策事業	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV12 交通安全の推進	基本方向	各種啓発活動や交通安全教育を通して市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関と連携を取りながら交通安全対策の充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	安全な交通環境づくり			【バスや鉄道など公共交通機関の利便性】	41.00%
	推進施策の展開	全ての人が利用しやすい環境づくりを推進します。			25年度市民評価の満足度	【バスや鉄道など公共交通機関】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 各駅を利用する周南市を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): 放置自転車を削減することにより、安全な交通環境を作る。	事業の内容 (手段)	徳山駅前、榎ヶ浜駅西、榎ヶ浜駅東、新南陽駅前、福川駅前、福川駅南、高水駅、勝間駅、大河内駅駐輪場の管理を行う。徳山駅前、榎ヶ浜駅西、榎ヶ浜駅東、新南陽駅前の駐輪場については、整理業務委託により適正な管理を行っている。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	徳山駅前、榎ヶ浜駅、新南陽駅他に設置している駐輪場の管理を行った。							直接事業費	千円	6,705	6,616	6,166	30,494
事業目標	目標名	放置自転車撤去回数	計算式	年間放置自転車撤去回数	単位	回	(予算額)	うち一財	千円	6,705	6,616	6,166	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	5,920	5,870		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	(決算額)	うち一財	千円	5,920	5,870	榎ヶ浜駐輪場の拡張のため。事業費24,453千円。	
	実績値	2.0	2.0	3.0			正職員人件費	千円	733	961			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	150.0%			人工数	人	0.10	0.13	0.14		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否		
	①	自転車駐輪場管理業務 (施設管理運営事業)	駐輪場利用者	駐輪場整理のため、業者と委託契約を結び、利用しやすい環境と交通環境の確保を図る。	駐輪場整理のため、業者と委託契約を結び、施設利用者の利用しやすい環境と交通環境の確保を図る。	業務委託により駐輪場を適正に管理することができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価						
	○徳山駅前、榎ヶ浜駅(西・東)と新南陽駅前駐輪場では、駐輪スペースの不足が生じている。 ○榎ヶ浜駅(西・東)と新南陽駅前駐輪場では、駐輪スペースの不足から周辺道路への迷惑駐輪が問題となっている。 ○駐輪スペースの不足については、放置自転車もその一因となっている。						B	改善案					
②													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
		④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	細事業の課題						改善案				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	細事業の課題						改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	利用者の増加により、駐輪スペースが不足する施設が出てきている。	前年度までの指摘事項	駐輪スペース不足への対応策について、検討が必要。各駐輪場の利用実態を把握されたい。	指摘事項に対する改善状況	徳山駅前駐輪場については、中心市街地駐輪場整備計画に基づき整備し、駐車需要に対応する。平成27年度中に徳山駅南側及び東側駐輪場を新設する予定。
	細事業の課題・問題点	徳山駅前駐輪場、櫛ヶ浜駅駐輪場、新南陽駅前駐輪場では、利用者の増加や放置自転車の影響により駐輪スペースが不足している。	事業全体の課題・問題点	駐輪スペースの不足は慢性化しており、放置自転車の撤去や委託による整理だけでは追いついていない状況にある。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	駅利用者の利便性の確保や施設周辺の最適な交通環境を確保するために必要な事業である。このため、駐輪場スペースが不足する駐輪場については、対策が必要である。	改善案	駐輪場スペースの拡大については、適当な土地が無いことから、難しい問題である。現段階では、駐輪場スペースを確保するため、放置自転車の撤去を適宜行うとともに、整理業務委託により良好な環境を保つ。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり。
----	---	------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
迷惑駐輪が発生していた櫛ヶ浜駅駐輪場の拡張工事を行い、駅利用者の利便性の確保並びに周辺環境の整備を図る。(事業費24,453千円)	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部 生活安全課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	野崎 俊明				
事務事業コード	621016	事務事業名	駐車場管理事業	事業の分類	(施設管理運営事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV12 交通安全の推進	基本方向	各種啓発活動や交通安全教育を通じて市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関と連携を取りながら交通安全対策の充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	安全な交通環境づくり			【実施なし】	%
	推進施策の展開	駐車場の利用促進や関係機関の協力による取り締まりの強化等を通じて違法駐車撲滅を図ります。			25年度市民評価の満足度	
		【実施なし】	%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 駐車場利用者	意図(どういう状態にしたい): 駅前ロータリーの管理を行うことにより、安全な交通環境をつくることができる。	事業の内容 (手段)	徳山駅前ロータリーの噴水、芝生及び花時計の維持管理事業		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	徳山駅前ロータリー噴水・花時計の管理を行う						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】													直接事業費
事業目標	目標名	除草回数	計算式	回数	単位	回	(予算額)	うち一財	千円	2,213	2,213	2,213	3,779	2,213
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,213	2,213	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	(決算額)	うち一財	千円	2,213	2,213	代々木公園の休止につき、代々木公園の管理費を一般会計で支出するため。		
	実績値	4.0	4.0	4.0			正職員人件費	千円	73	74	0.01			
	達成度(%)						人工数	人	0.01	0.01	0.01			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費		委託		臨時嘱託	
	①	徳山駅前ロータリー噴水・花時計管理負担金振替業務 (施設管理運営事業)	利用者、市民	徳山駅前ロータリー噴水・花時計の管理を行う	一般会計から駐車場事業特別会計に負担金の振替を行う	一般会計から駐車場事業特別会計に負担金を振替えるため、調定を立て、振替命令を行う。	0.01		2,213		否	否		
	②													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
平成26年度振替額:2,213,000円						A	改善案							
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題							改善案				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	指定管理者により一体的な管理を実施している。	前年度までの指摘事項	駐車場と一体的な管理が行われており効果的であるが、引き続き経費の削減に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	指定管理者と連絡を密にし、経費の削減に努める。
	細事業の課題・問題点	特になし		事業全体の課題・問題点	常に、適正な管理コストを算出し事業を進める必要がある。	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	引き続き、適正な予算の執行に努める。	改善案	
----	---	--	------	--------------------	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
利用者の減少に伴い代々木公園地下駐車場の休止するため、最小限の維持管理費については一般会計から支出するため事業費が増加している。	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事務事業コード	622005	事務事業名	交通教育センター管理運営事業	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV12 交通安全の推進	基本方向	各種啓発活動や交通安全教育を通して市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関と連携を取りながら交通安全対策の充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	交通安全意識の高揚			【防犯や交通安全対策の推進】	41.10%
	推進施策の展開	幼児から高齢者までを対象に、正しい交通ルールやマナー等の交通安全教育を強化します。高齢者の交通事故防止のため、さらに関係機関・団体との連携を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市を含む近隣住民	意図(どういう状態にしたい): 交通安全知識を普及し、技術の向上を図ることにより、安心・安全なまちづくりを進める。	事業の内容(手段)	○周南市交通教育センターの管理を行う。 ○周南市交通安全対策推進協議会への委託により交通安全教室を開催し、幼児から高齢者までを対象に正しい交通ルールやマナーを身につけてもらう。	【防犯や交通安全対策の推進】	48.10%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	交通教育センターの管理及び交通安全推進事業を行うことで、交通安全教育の拠点としての役割を果たした。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	7,715	7,685	7,705	7,836
							(予算額) うち一財	千円	7,715	7,685	7,705	7,836	7,836	
事業目標	目標名	利用者数	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	直接事業費	千円	7,499	7,435		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	7,499	7,435			
	目標値	20,000.0	20,000.0	20,000.0	20,000.0	20,000.0		正職員人件費	千円	5,567	592			
	実績値	26,018.0	26,142.0	29,610.0				人工数	人	0.76	0.08	0.13		
	達成度(%)	130.1%	130.7%	148.1%				支出コスト	千円	決) 13,066	決見) 8,027			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 交通教育センター管理 (施設管理運営事業)		交通教育センター利用者	交通教育センターの管理・運営を行い、交通安全教育を推進する。	適切な管理を行うことによって、利用者の増加を図る。	利用者数29,610人 (個人27,719人、団体1,891人)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	可	
	□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他		建物の老朽化が進み、修繕箇所が増加が予測される。			B	改善案	利用者の安全確保のため、必要な範囲で修繕を行う。						
	② 交通安全教育 (ソフト事業)		幼稚園、小学校、ニコニコクラブ、老人団体等	交通安全講習を行うことにより、交通安全に関する知識と技能を身につけてもらう。	交通安全講習の受講者数の増加。	交通安全教室参加者 8,772人(273回)	0.04	0.4	5,167	可	可			
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他		毎年一定数の利用団体がある幼児・児童以外に、高齢者団体等の利用を増やす必要がある		B	改善案	高齢者団体等に施設の利用を呼びかける。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題							改善案				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	<p>「交通戦争」と呼ばれていた昭和40～50年代と比べると、道路環境も整備され、交通事故発生件数、死傷者数ともに減少している。一方で、高齢者が関与する交通事故の割合が増加するなど、新たな問題が生じており、交通安全教育の必要性は薄れていない。</p> <p>交通安全教室については、市内及び周辺地域の幼稚園などが多く利用しているが、高齢者等の利用はまだ少なく、今後は新たな利用者層を掘り起こす必要がある。</p>	<p>管理棟については、周南緑地公園の整備状況をみながら、管理方針を検討する必要がある。ソフト面では、交通安全教室の拡大に努める。</p> <p>事業全体の課題・問題点</p>

所管課評価

評価	理由	改善案
B	<p>A 計画どおりに事業を進めた</p> <p>B 実施方法やコスト等の見直しが必要</p> <p>C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要</p> <p>D 休止・廃止の検討</p>	<p>○周辺市町に類似施設がなく、地域の交通安全教育の拠点施設として重要な役割を果たしているが、管理棟が老朽化しており、周南緑地公園の整備状況をみながら、管理方針を検討する必要がある。</p> <p>○交通安全教室の利用拡大が必要である。</p> <p>改善案</p> <p>○管理棟は利用者の安全を確保するために必要な修繕を行いながら、当面は維持する。将来的には、周南緑地公園の整備を合わせながら、施設の管理方針を検討し、有効活用を図る。</p> <p>○交通安全教室の利用拡大を図る。(高齢者層)</p>

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり。
----	---	------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400301
分野	4安心安全
基本施策	3市民生活の安全性の向上
推進施策	(1)防犯運動・交通安全運動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成28年度当初予算に反映した項目はないが、今後も引き続き、利用促進を図り、交通安全教育に取り組む。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事務事業コード	622008	事務事業名	交通安全推進事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV12 交通安全の推進	基本方向	各種啓発活動や交通安全教育を通して市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関と連携を取りながら交通安全対策の充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	交通安全意識の高揚			【防犯や交通安全対策の推進】	41.10%
	推進施策の展開	「交通事故0の日」の周知と交通安全を繰り返し呼び掛けることにより、市民の交通安全意識の高揚を図ります。幼児から高齢者までを対象に、正しい交通ルールやマナー等の交通安全教育を強化します。高齢者の交通事故防止のため、さらに関係機関・団体との連携を図ります。			25年度市民評価の満足度	【防犯や交通安全対策の推進】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 交通安全意識の高めることで、安心・安全なまちづくりにつながる。	事業の内容(手段)	各種啓発・広報活動による、交通事故防止の呼びかけ。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	周南警察署や周南交通安全協会と連携をとりながら交通安全に関する各種啓発・広報活動を行い、交通事故防止を呼びかけた。								直接事業費	千円	6,169	6,134	5,542	5,542
事業目標	目標名	交通事故発生件数	計算式	年間事故発生件数	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	5,795	6,009	5,542	5,532	5,542
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	5,679	5,879		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	790.0	760.0	730.0	700.0	700.0	(決算額)	うち一財	千円	5,181	5,754			
	実績値	761.0	701.0	701.0			正職員人件費	千円	5,787	3,993				
	達成度(%)	96.3%	92.2%	96.1%			人工数	人	0.79	0.54	0.51			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時嘱託		
	①	交通安全運動に関する事務(ソフト事業)	市民、通勤通学者等	各種啓発・広報活動を行い、交通事故防止を図る。	交通安全運動期間や交通事故ゼロの日を中心に各種キャンペーン等を行い、交通事故の減少に努める。	年4回の交通安全運動期間を中心に、関係機関と連携して啓発・広報活動を行った。	0.13	0.1	2,694		否	可		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 交通事故件数は減少傾向にあるものの、高齢者の関係する事故の割合が増えるなど事故情勢は依然厳しく、交通安全運動を継続する必要がある。						細事業評価							
②	違法駐車等防止会議(ソフト事業)	市街地の違法駐車者	違法駐車を防止することにより、安全で快適な道路交通環境を作る。	年間計画に沿って違法駐車等追放キャンペーンを行うことにより、違法駐車者の減少を図る。	年5回の違法駐車等追放キャンペーンを行った。	0.03				否	可			
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 市街地における違法駐車は以前と比較すると減少しており、事業の実施方法について検証する必要がある。						細事業評価								
						B	改善案	事業効果が上がるよう、必要に応じて実施方法を見直す。						

	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト 直接事業費	委託等の可否	
	正職員	臨時等					委託	臨時			
事業を構成 する細事業 【25年度実績】	③	周南市交通指導員 (ソフト事業)	各小学校PTA、老人団体等	歩行者の交通事故撲滅のため、交通指導員の委嘱を行う。	交通指導員の委嘱を行い、児童生徒等の安全確保に努める。	平成26年5月23日交通指導員委嘱式及び研修会を行った。	0.05			否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価					
						A	改善案				
	④	周南市交通安全対策推進協議会 (ソフト事業)	各関係団体	周南市における交通安全対策を効果的に推進する。	関係団体の主体的な取り組みにより、交通安全対策を進める。	関係団体の主体的な取り組みにより交通安全対策の推進に努めた。	0.08	0.2		否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価					
						A	改善案				
	⑤	周南市交通安全対策推進協議会表彰 (ソフト事業)	該当者	交通安全活動の推進について顕著な功績のあった個人又は団体を表彰する。	該当者・団体の交通安全意識の高揚を図る。	平成26年6月27日の協議会総会において、個人4人及び7団体の表彰を行った。	0.05		19	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価					
						A	改善案				
	⑥	交通安全に係る補助金交付 (ソフト事業)	管内交通安全協会	関係団体に対して活動費の補助を行う。	関係団体と連携して交通安全運動を推進する。	周南交通安全協会及び光交通安全協会に対して補助金を交付した。	0.02		2,625	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 地域の関係団体と連携して交通安全運動を進めるために必要な事業であるが、補助内容の精査が必要。				細事業評価					
						B	改善案	補助内容の精査が必要。インセンティブが働くような補助内容を検討。			
⑦	交通安全概要作成 (ソフト事業)	市民、関係団体	市内で発生した交通事故を把握し、交通事故防止を図るために、交通安全概要を作成する。	交通安全意識の啓蒙を図る。	交通安全概要を作成して、関係団体に配布した。	0.05		144	否	可	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 作成コストが適切であるかどうか検討する余地がある。				細事業評価						
					B	改善案	市内の交通情勢や交通事故発生状況を広く知ってもらうために必要な事業であるが、冊子の仕様や配布方法の見直しによるコスト削減が可能かどうか検討する。				
⑧	道路反射鏡支給 (ソフト事業)	道路反射鏡を設置する自治会	見通しが悪い交差点等に道路反射鏡を設置する場合に原材料支給を行う。	交通環境を改善することにより、交通事故を未然に防止する。	6自治会に対して道路反射鏡の支給を行った。	0.08	0.05	397	否	可	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 市道の道路反射鏡は道路課が担当している。一方で、私道については生活安全課が担当している。市民にとって分かりやすいように窓口の一本化の検討が必要。				細事業評価						
					B	改善案	道路課(市道)と生活安全課(私道)の窓口の一本化の検討。				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	⑨ 徳山地区ヤングドライバー 安全会議 (ソフト事業)	徳山地区13事業所					若年層の交通事故抑止のために啓発・広報活動を行う。	若年層の交通安全意識の啓発。	キャンペーン活動、ヤングドライバー・コンテスト等の活動を行った。	正職員	臨時等	直接事業費
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					A	改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	交通事故の発生件数自体は全国的に減少傾向にあるが、高齢者が関係する事故の割合が増えるなど、依然として厳しい状況が続いている。	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
		細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点	高齢者が関係する交通事故が増加傾向にあることから、高齢者への交通安全意識啓発が求められる。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	事業の実施効果が数字に表れにくい事業であるが、交通事故の発生件数や死傷者数は減少傾向にあり、一定の効果は表れていると思われる。今後は、交通情勢に合わせて実施方法を見直しながら事業を継続していく。	改善案	高齢者が関係する交通事故が増加傾向にあることから、高齢者への交通安全意識啓発に積極的に取り組む。
----	---	--	------	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり。
----	---	------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400301
分野	4安心安全
基本施策	3市民生活の安全性の向上
推進施策	(1)防犯運動・交通安全運動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
平成28年度当初予算に反映した項目はないが、今後も引き続き、周南警察署や周南交通安全協会と連携し交通安全運動を実施する。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	671005	事務事業名	市民相談事業費	担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる		実施計画	○	
	基本施策	IV15 市民相談の充実	基本方向	暮らしにかかわる相談体制の強化やトラブルの未然防止のための啓発活動を積極的に推進し、市民が安心して生活できるまちづくりを進めます。		20年度市民評価の満足度		
	推進施策	(1) 相談体制の強化				【行政相談や消費者相談体制の充実】		25.20%
	推進施策の展開	○各種研修会への派遣等により、専門相談員や職員の資質の向上を図り、市民からの相談に的確に対応できる体制強化を図ります。 ○山口県や警察、各種団体との連携を強化し、相談体制の拡充を図ります。 ○解決策の糸口を見つけ、迅速かつ的確に次に繋ぐことのできる相談のネットワークづくりに努めます。				25年度市民評価の満足度		
		【行政相談や消費者相談体制】				35.90%		
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民	意図(どういう状態にしたい): 悩みなどの解決への方向性を見だし、安心な生活を送る一助となる。		事業の内容(手段)	○市民の生活上の様々な相談や市に対する要望苦情等について適切な窓口等あつせん ○専門家による無料法律相談会の実施			

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		相談件数1,083 件					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
【26年度】	目標名	相談件数		計算式	相談件数	単位		件	直接事業費	千円	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	
		年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度	(予算額) うち一財	千円	1,493	1,493	1,493	1,493	1,493	
事業目標	目標値	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0		直接事業費	千円	1,493	1,493		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	実績値	1,223.0	1,133.0	1,083.0			(決算額) うち一財	千円	1,493	1,493						
	達成度(%)	122.3%	113.3%	108.3%			正職員人件費	千円	4,102	4,141						
							人工数	人	0.56	0.56	0.56					
							支出コスト	千円	決) 5,595	決見) 5,634						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類										正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①	市民相談受付事務 (ソフト事業)	市民	市民の生活上の悩み事の相談を聴き、また市に対する要望、苦情等に対して適切な部署を案内することにより迅速に解決への方向性を図る	市民生活の安定を図る	電話・来所等による相談・苦情等を受け付け、迅速に担当部署・専門機関へ案内した	0.25	0	35	否	可					
	細事業の課題	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 ○どこに相談したらいいかわからない場合等、気軽に相談できる窓口が必要					A	改善案								
	②	無料法律相談事務 (ソフト事業)	市民	専門的な相談ニーズに対応するため専門家による無料法律相談会を実施することにより問題解決への方向性を図る	専門家等による無料相談会を実施し市民生活上で起こる様々な問題解決の方向性を図る	無料法律相談会:18回開催	0.21	0	1,458	否	可					
細事業の課題	■ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 市民館解体に伴う開催場所の問題					B	改善案	市民の利便性を考慮し検討する								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③	統計事務 (ソフト事業)	相談内容	相談内容の形態を体系的に整理することで現状の問題を把握する	相談内容の分析を行うことにより問題傾向の把握	毎月の相談内容の集計、年度集計表「市民相談のまとめ」を作成	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							0.05	0				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 課題なし						細事業評価						
A						改善案						
事業を構成する細事業 【26年度実績】	④		行政相談委員に関する事務 (ソフト事業)	行政相談委員任期更新・退任事務	総務省山口行政評価事務所の依頼事務に協力する	国との事務の円滑な推進を図ることにより行政サービスの改善・向上を図る	委員の更新・新任の推薦依頼事務等について書類を作成し提出 行政相談日・行政相談週間等について市広報へ掲載	0.05	0		否	否
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 課題なし						細事業評価					
	A						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	近年の社会情勢の変化に伴い、個人の権利意識が高まり、法律の専門家による助言を望む傾向にある。 家族・地域の関わり方の変化による複雑多様な相談が増加している。	
	市民館解体に伴う開催場所の確保問題	事業全体の課題・問題点	無料法律相談の必要性を踏まえ開催時期、開催場所等を検討。 複雑・多様化する相談に迅速に対応するため、職員の総合的な研修や庁内部署・関係機関等との連携が必要。

所管課評価

評価	B	A	計画どおりに事業を進めた	評価理由	改善案	市民のニーズを踏まえ開催時期、開催場所等を検討しながら無料法律相談会を継続して実施する。庁内の研修等へ積極的に参加し、庁内外の関係機関等と連携を図り適切な相談対応に繋げていく。
		B	実施方法やコスト等の見直しが必要	市民の様々な相談に対応し、市に対する要望・苦情等に対して適切な部署や関係機関等に案内する窓口として必要である。複雑多様化する相談内容に対応するための方法を見直ししながら継続することが必要		
		C	事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要			
		D	休止・廃止の検討			

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価どおり
----	---	----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400303
分野	4安心安全
基本施策	3市民生活の安全性の向上
推進施策	(3)相談体制の強化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成28年度当初予算に反映した項目はなし。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	672005	事務事業名	消費生活事業費	担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる		実施計画	○
	基本施策	IV15 市民相談の充実	基本方向	暮らしにかかわる相談体制の強化やトラブルの未然防止のための啓発活動を積極的に推進し、市民が安心して生活できるまちづくりを進めます。		20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)相談体制の強化 (2)啓発活動の推進				【行政相談や消費者相談体制の充実】 25.20%	
	推進施策の展開	○各種研修会への派遣等により、専門相談員や職員の資質の向上を図り、市民からの相談に的確に対応できる体制強化を図ります。 ○山口県や警察、各種団体との連携を強化し、相談体制の拡充を図ります。 ○解決策の糸口を見つけ、迅速かつ的確に次に繋ぐことのできる相談のネットワークづくりに努めます。				25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 消費生活相談窓口の周知と迅速な問題解決が図られ、消費者被害の未然防止・早期発見につながり、市民の安心・安全な暮らしにつながる。				事業の内容(手段)	○複雑・巧妙化する消費生活相談についての助言・あっせん等の実施 ○消費者トラブルの未然防止・拡大防止のための啓発活動実施 ○多面的に消費者活動に取り組む消費者団体の活動支援

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	消費者啓発事業参加者数 2,554 人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】							直接事業費	千円	4,434	4,488	4,573	4,584	4,584
事業目標	目標名	消費者啓発事業参加者数	計算式	消費者啓発事業参加者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	4,434	4,488	4,573	4,584	4,584
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	4,374	4,426	対27年度増減理由		対28年度増減理由	
	目標値	1,000.0	1,000.0	2,000.0	—	—	(決算額)	うち一財	千円	4,374	4,426	非常勤嘱託職員の社会保険料率変更による増加		
	実績値	1,054.0	1,861.0	2,554.0			正職員人件費	千円	11,207	11,314	非常勤嘱託職員の社会保険料率変更による増加			
	達成度(%)	105.4%	186.1%	127.7%			人工数	人	1.53	1.53	1.53			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費		委託		臨時嘱託	
	①	消費生活相談に関する事務(経常的事務事業)	市民	専門的知識を有する者を配置し、消費生活に係るくらしの様々な相談・苦情の処理のためのあっせん等を行う	暮らしの様々な消費生活相談の受付・助言・あっせん等を行い市民の安心安全な生活の確保を図る	電話・来所等による相談受付・苦情等のあっせん処理を行いトラブルの未然防止・早期解決に繋がった	0.55	2.1	4,058		否	可		
	細事業の課題	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		○高齢者を狙った悪質・巧妙化する消費者トラブルや、通信機器の発達に伴う複雑・高度化する消費者トラブルへの対応。		B	改善案	○相談員等の資質の維持向上を図り、関係機関・団体等と連携しながら事業を継続していくことが必要。						
②	情報収集・管理・啓発に関する事務(経常的事務事業)	市民	消費者教育・啓発活動を推進し、消費生活トラブルの未然防止、拡大防止を図る	情報発信・啓発活動を推進することにより自立した消費者の育成を図る	最新の消費生活トラブル情報や緊急情報の収集・発信等を行い、出前講座等で消費者教育・啓発活動を実施した	0.3	0.9	185		否	可			
細事業の課題	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		○悪質・巧妙化する消費者トラブルの未然防止・早期発見のため、情報発信・啓発活動が必要。		B	改善案	○消費生活センターの周知・啓発活動を継続していくことが必要。							

	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
事業を構成する細事業【26年度実績】	③	相談員等の専門知識向上支援 (経常的事務事業)	相談員・相談担当職員	消費生活関連の専門家による研修の受講支援を行い、相談員等の資質の維持向上を図る	複雑・多様化する消費生活相談の助言・あっせん等を行うため、相談員等の相談対応力の向上を図る	悪質・巧妙化する消費生活相談における相談対応力の向上に繋がった	0.15		73	否	可
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ○悪質・巧妙化する消費者トラブルに適切に対応するため、専門家による研修等を受講し相談員等の資質の維持向上が必要。				B	改善案	○コストを見直し県が実施する研修参加を積極的に支援する。			
	④	立入検査事務 (経常的事務事業)	市内事業者	消費生活用製品、家庭用品、ガス用品、液化ガス器具等の関係する法律に基づき、商品への適正な表示に対する立入検査を実施する	事業者の商品への適正な表示に対する意識向上と市民の安心安全な生活の確保を図る	事業所への立入検査を実施し、適正な表示に対する意識啓発に繋がった	0.19			否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案				
	⑤	周南市消費者被害防止連絡協議会事務 (ソフト事業)	庁内関係部署・関係機関・関係団体	庁内関係部署、関係機関等と連携を図り、消費者被害の早期発見・拡大防止を図る	被害防止に向け関係機関等との連携・情報共有を図る	協議会を開催し消費者被害防止等の効果的な対策を協議・情報共有が図れた	0.07			否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案				
	⑥	消費者団体に関する事務 (ソフト事業)	周南消費者協会	消費者団体の自主的な活動を支援・育成を図る	自主的な活動を支援する	補助金を交付し自主的な活動支援を図った	0.17		110	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ○会員の高齢化による自主活動への影響				B	改善案	○自主的な活動を支援し事業を継続していくことが必要。			
	⑦	統計事務 (ソフト事業)	消費生活事業内容	消費生活事業内容を体系的に整理することで現状の問題傾向を把握	消費生活事業内容の分析による問題傾向の把握	毎月の相談内容の集計、及び年度集計表「消費生活事業のまとめ」を作成	0.1			否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴い、高齢者を狙った悪質・巧妙な消費者トラブルが増加 ・相談員等の専門家による研修等の受講を継続的に支援し資質の維持向上を図り複雑巧妙な消費者相談に適切に対応 ・各年代に応じた消費者教育を総合的に推進し自立した消費者の育成 	前年度までの指摘事項		指摘事項に対する改善状況	
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の消費者被害の未然防止・拡大防止に向けて、家族や見守り関係者との連携 ・幼児期から高齢期までの各年代に応じた消費者教育、啓発活動の充実 ・消費生活相談員等の資質の維持向上を図るため、専門家による研修への受講支援の継続 ・周南市消費者被害防止連絡協議会においては庁内の既存の協議会との連携 	事業全体の課題・問題点		<ul style="list-style-type: none"> ・消費者教育を推進するため多様な主体との連携 ・複雑・巧妙化する消費者トラブルに的確に対応するための相談体制の維持・充実 	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	消費者被害の未然防止・拡大防止に向けた消費者教育・啓発活動の推進、相談体制を強化を図り事業を継続して進めていく。	改善案	消費者被害の未然防止・拡大防止を図るため消費者教育・啓発活動の推進、相談体制の維持・充実が必要である。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	事業内容を見直しながら相談体制の維持・充実を図っていく。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400303
分野	4安心安全
基本施策	3市民生活の安全性の向上
推進施策	(3)相談体制の強化

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
平成28年度当初予算に反映した項目はないが、引き続き相談体制の維持・充実を図っていく。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

			担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者 (課長)	山本 次雄		評価責任者 (部長)	野崎 俊明	
事務事業コード	683003	事務事業名	路外駐車場管理費	事業の分類	(施設管理運営事業)	補助・単独の別	単独	会計名	09駐車場事業特別会計	

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全		節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる			実施計画	×			
	基本施策	IV12 交通安全の推進		基本方向	各種啓発活動や交通安全教育を通じて市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関と連携を取りながら交通安全対策の充実に努めます。			20年度市民評価の満足度				
	推進施策	安全な交通環境づくり						【実施なし】			%	
	推進施策の展開	駐車場の利用促進や関係機関の協力による取り締まりの強化等を通じて違法駐車撲滅を図ります。						25年度市民評価の満足度			%	
事業の目的(対象、意図)		対象(誰を・何を): 駐車場利用者	意図(どういう状態にしたい): 3か所の駐車場を運営することにより、中心市街地及び熊毛インターチェンジの駐車需要に応じ、かつ、周辺の円滑な道路交通を確保することができる。		事業の内容(手段)	周南市営路外駐車場管理事業 指定管理者制度(利用料金制)により、徳山駅前駐車場・代々木公園地下駐車場及び熊毛インター前駐車場を一括管理する。						

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		平成26年度利用台数:135,724台				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)					
【26年度】							直接事業費	千円	21,657	12,963	13,559	11,767	12,800					
							(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0	0					
事業目標	目標名	駐車場利用台数	計算式	年間駐車場利用台数		単位	台	直接事業費	千円	20,742	8,532	対27年度増減理由		対28年度増減理由				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	0	0	代々木公園地下駐車場を休止することにより、管理コストの減が見込まれるため。							
	目標値	184,000.0	185,000.0	186,000.0	187,000.0		正職員人件費	千円	2,710	2,736								
	実績値	152,278.0	143,114.0	135,724.0			人工数	人	0.37	0.37	0.33							
	達成度(%)	82.8%	77.4%	73.0%			支出コスト	千円	決) 23,452	決見) 11,268								
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類											正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	①	周南市路外駐車場の管理事務 (施設管理運営事業)	指定管理者		市街地の駐車需要に応じ、円滑な道路交通の確保を図る。		市長が指定するものに市営駐車場管理を行わせる。		指定管理者として選任された洋林建設に、基本協定に基づいた駐車場の管理運営業務を行わせる。			0.15		5,914	可	可		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 施設の老朽化に伴う修繕コストの増加が懸念される。利用者数が年々減少している。				B		改善案	指定管理者と協議を行いながら経営改善に努め、特別会計の経営健全化を図る。 収益見込みと施設の改修に要するコストを算出し、今後の管理方針を定める								
②	年度協定の締結事務 (経常的業務)	指定管理者		市への納付金額を決定する		年度協定の締結を行う。		前年の運営実績により納付金額を算定し、指定管理者と年度協定を締結する			0.05		0	否	否			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成26年3月31日年度協定締結				A		改善案										

	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト 直接事業費	委託等の可否	
	正職員	臨時等					委託	臨時			
事業を構成 する細事業 【26年度実績】	③	駐車場利用報告事務 (ソフト事業)	指定管理者	駐車場利用状況を把握する	毎月、指定管理者から報告を受ける。	毎月、指定管理者から駐車場利用状況報告書の提出を受け、データ入力し、各駐車場の実績把握をする	0.03		0	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 毎月報告を受け、データを蓄積している。					細事業評価				
	④	地方公営企業調査事務 (経常的事務事業)	県	地方公営企業決算状況を県に報告する	決算書を基に調査票を作成する。	出納閉鎖後、決算書を基に調査票を作成する	0.05		0	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	⑤	消費税申告事務 (経常的事務事業)	税務署	事業の消費税を算出する	決算書を基に申告書を作成する。	税務署から申告書が送付されるので申告書を作成する。納付作業を行う。確定申告を基に中間申告納付税額が確定するため納付作業を行う。	0.05		3	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	⑥	共通サービス券手数料支払事務 (ソフト事業)	徳山商店連合協同組合	徳山中心市街地の駐車場運営安定確保をする	徳山商店連合協同組合発行する共通駐車サービス券の手数料の支払いを行う	徳山商店連合協同組合とサービス券利用契約を締結する。毎月、共通駐車サービス券手数料請求を受けた後、支払いを行う。	0.02		2,005	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成26年4月1日、契約締結					細事業評価				
	⑦	熊毛インター前駐車場土地借上げ業務 (施設管理運営事業)	地権者	熊毛インター前駐車場の土地を使用する。	所有者と賃貸借契約を締結する。	賃借料を決定するため、額を算定して所有者と契約を結ぶ。賃借料を契約者に支払う。(年2回)	0.01		610	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成25年度借上料:614,772円					細事業評価				
	⑧	繰越金調定事務 (経常的事務事業)		繰越金が発生した場合、財務会計で計上する。	調定書を作成する。	財務会計で繰越金を計上するため調定書を作成する。繰越額を補正予算にて計上する。	0.01		0	否	否
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	利用台数の減少。施設自体の老朽化。 指定管理により一体的な管理を実施している。	前年度までの指摘事項	行財政改革大綱に掲げられた事業である。駐車場利用者が減少しており、老朽化に伴う施設改修も見込まれることから、特別会計が赤字に陥る危険性がある。今後の運営状況を検証し、方向性を検討されたい。	指摘事項に対する改善状況	中心市街地の活性化と密接にかかわる事業なので、関係各課と連携して駐車場の方向性を定めていく。
	細事業の課題・問題点	施設の老朽化に伴う修繕コストの増加が懸念される。利用者数が年々減少している。指定管理者と連絡を密にして、駐車場の利用実態を把握し、適切な管理を行っていく必要がある。	事業全体の課題・問題点	施設の老朽化に伴う修繕費の増加。施設がバリアフリーに対応できていない。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	施設・設備の老朽化で、管理コストの増加が見込まれる一方、年間利用台数・利用料金収入が減少の一途を辿っており今後の運営が厳しくなると予想されるため。	改善案	指定管理者・関係各課等と協議し、施設の現状を把握したうえで施設運営の方向性を決定する。
----	---	--	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課の指摘通り、老朽化が進んでいる建物であり、特に徳山駅前駐車場は中心市街地活性化に関わる施設であるため、早急に施設運営の方針を決定する。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
代々木公園地下駐車場の休止という運営方針に従い、管理コストの増減などを加味して予算を編成している。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事務事業コード	683015	事務事業名	路外駐車場省エネルギー化事業費	事業の分類	(施設管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 09駐車場事業特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV12 交通安全の推進	基本方向	各種啓発活動や交通安全教育を通じて市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関と連携を取りながら交通安全対策の充実に努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	安全な交通環境づくり			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	駐車場の利用促進や関係機関の協力による取り締まりの強化等を通じて違法駐車撲滅を図ります。			25年度市民評価の満足度	
		【実施なし】 %				
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市宮路外駐車場(徳山駅前駐車場・代々木公園駐車場)	意図(どういう状態にしたい): ESCO事業に伴う、省エネルギーサービス事業により、光熱水費の削減効果	事業の内容(手段)	周南市宮路外駐車場省エネルギー化事業 ESCO事業完了後、10年間の維持管理業務(債務負担行為)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		平成26年度光熱水費削減額:9,160,172円				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
【26年度】							直接事業費	千円	1,146	1,178	1,178	1,098	500
事業目標	目標名	電気代削減額	計算式	電気代削減実績額/電気代削減保証額	単位	千円	(予算額) うち一財	千円	1,146	346	0		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,970	1,843		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	6,500.0	6,500.0	6,500.0	6,500.0		(決算額) うち一財	千円	1,970	1,843		委託契約の期間満了により、設備維持のみとなるため。	
	実績値	9,443.0	9,125.0	9,160.0			正職員人件費	千円	220	222			
	達成度(%)	145.3%	140.4%	140.9%			人工数	人	0.03	0.03	0.03		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否		
	事業の分類							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①	ESCO事業サービス委託料支払い事務(ソフト事業)	受託者(エネルギー・ソリューション・アンド・サービス)	省エネルギー化(ESCO)事業委託料支払いをする	委託契約書に基づき駐車場光熱水費削減額の検査を行う	(株)ESSから実績報告が年度初めにあるため、光熱水費削減額の検査を行い、委託契約書に基づき委託料支払いを行う	0.02		1,843	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成26年度支払委託料:1,843,386円(契約料:1,177,795円、平成25年度事業超過達成分:665,591円)				A	改善案	細事業評価					
②	電気料金と使用電力量の管理事務(ソフト事業)		駐車場の電気料金を把握する	電気会社からの請求内容をデータ入力する。	毎月電気会社からの駐車場電気料金請求があるため、内容をデータ入力し管理する	0.01		0	可	可			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 報告に基づき、データを蓄積している。				A	改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④		細事業評価							
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	目標を超える削減額を達成している。	前年度までの指摘事項	エコ及び駐車場経営の両面から有効な事業	指摘事項に対する改善状況	引き続き事業を継続する
		細事業の課題・問題点	特になし。平成26年度は機器のトラブルもなく、順調に事業を進めることができた。	事業全体の課題・問題点	10年間の省エネルギーサービス契約期間終了後(平成27年度末終了予定)の、設備の維持管理をどのようにするのか検討が必要。	

所管課評価

評価	A	評価理由	光熱水費の大幅な削減ができており、有益な事業である。	改善案	契約期間終了後の設備維持について、計画を定めていく。
		A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討			

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
委託契約の期間が満了するが、引き続き設備を維持して光熱費の削減を図ることから、設備保守委託料として予算を計上している。	

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明				
事務事業コード	614010	事務事業名	暴力追放関係事業	事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV11 防犯の推進	基本方向	警察署や地域組織等と連携、協力して、防犯教育や防犯活動を推進し、安全な環境づくりに努めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	防犯運動の推進			【防犯や交通安全対策の推進】	41.00%
	推進施策の展開	防犯協議会等の関係団体と連携し、防犯教育を推進します。			25年度市民評価の満足度	【防犯や交通安全対策の推進】
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 市民	意図(どういう状態にしたい): 暴力追放の気運を高め、安全なまちづくりを推進する。	事業の内容(手段)	○暴力追放に関する各種啓発・広報活動を行う。 ○周南地区暴力追放運動協議会の事務局業務を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	関係機関と連携をとりながら暴力追放運動に関する各種啓発・広報活動を行った。								直接事業費	千円	121	122	127	130	127
事業目標	目標名	暴力追放県民大会参加者	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	121	122	127	130	127	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	122	119				
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0			(決算額) うち一財	千円	122	119				
	実績値	19.0	20.0	20.0				正職員人件費	千円	440	370				
	達成度(%)	95.0%	100.0%	100.0%				人工数	人	0.06	0.05	0.05			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト	委託等の可否	
	事業の分類										正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
	①	周南地区暴力追放運動協議会事務(ソフト事業)	周南地区暴力追放関係団体	関係団体で連携をとりながら運動を進める。		安心安全な地域づくりを進める。		平成26年7月28日総会開催			0.03		119	否	可
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価										
②	暴力追放に関する啓発・広報(ソフト事業)	市民	広報・啓発活動を通じて、暴力追放を呼びかける。		暴力追放意識の高揚を図る。		「暴力追放県民大会」への参加(H26.11.7 山口市)			0.02		0	否	可	
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価											
				A 改善案											

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	全市をあげて暴力団の排除に取り組んでいくため、平成23年に「周南市暴力団排除条例」を制定した。	前年度までの指摘事項	特になし	指摘事項に対する改善状況	条例に則って、暴力団の排除に努める
	細事業の課題・問題点	特になし		事業全体の課題・問題点		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市長が協議会の会長であり、地域の暴力追放運動を推進する上で必要な事業である。	改善案	
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400301
分野	4安心安全
基本施策	3市民生活の安全性の向上
推進施策	(1)防犯運動・交通安全運動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
平成28年度当初予算に反映した項目はなし。	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	622001	事務事業名	交通災害共済事業	担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	野崎 俊明
事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる		実施計画	×
	基本施策	IV12 交通安全の推進	基本方向	各種啓発活動や交通安全教育を通して市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関と連携を取りながら交通安全対策の充実に努めます。		20年度市民評価の満足度	
	推進施策	交通安全意識の高揚				【防犯や交通安全対策の推進】	41.00%
推進施策の展開	「交通事故0の日」の周知と交通安全を繰り返し呼び掛けることにより、市民の交通安全意識の高揚を図ります。幼児から高齢者までを対象に、正しい交通ルールやマナー等の交通安全教育を強化します。高齢者の交通事故防止のため、さらに関係機関・団体との連携を図ります。				25年度市民評価の満足度		
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 交通災害共済に加入している周南市民		意図(どういう状態にしたい): 交通事故に遭った会員に見舞金を支払う互助制度により、万一事故に遭った時の経済的負担を軽減できる。		事業の内容(手段)	○山口県市町総合事務組合の共同処理する交通災害共済に加入している。市では、見舞金の支払い請求を受け付けている。 ○市の独自制度として、自治会で加入申込みを取りまとめた場合に報償金を支払う制度を設けている。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		○見舞金の支払い請求の受付を行った。 ○加入申込みに係る報償費の支払い事務を行った。				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
【26年度】							直接事業費	千円	6,707	1,518	1,382	1,331	1,382			
事業目標	目標名	加入率	計算式	年間加入率	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	1,707	0	0	0			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,774	1,042	対27年度増減理由		対28年度増減理由			
	目標値	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	(決算額)	うち一財	千円	151	0					
	実績値	35.2	33.0	30.6			正職員人件費	千円	2,124	2,145						
	達成度(%)	106.7%	100.0%	92.7%			人工数	人	0.29	0.29	0.35					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類										正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時嘱託
	①	交通災害共済見舞金請求受付 (ソフト事業)	山口県市町総合事務組合 交通災害共済加入者	見舞金請求書を受け付け、事務組合に送付する。	見舞金の適正な支払い。	支払件数:230件、見舞金支給金額: 9,175,000円	0.19	0.05	0	否	可					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価									
②	報償金支給 (ソフト事業)	交通災害共済加入の取りまとめを行った自治会	自治会での加入取りまとめに対して報償金を支払う。	加入率の向上。	報償金支払額 568,900円 加入率:30.55%	0.06		569	否	可						
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他				細事業評価										
		自治会でのとりまとめについては、加入率の向上に寄与している反面、自治会の負担になっている面もあり、廃止を含めた検討が必要。				B 改善案 報償金制度の必要性については、休廃止も含めた検討を行う。										

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否	
	③	加入申込書及びチラシの 広報折込依頼 (ソフト事業)	市民	交通災害共済会員募集の ためのパンフレットと加入 申込書を市広報とあわせて 配布する。	加入率の向上。	加入率:30.55%		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
								0.02				
細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	A	改善案										
④	加入状況把握 (ソフト事業)	交通災害共済加入者	交通災害共済の加入状況 及び見舞金の支払い状況 を把握する。	加入率、支払状況の把握。	加入率:30.55%		0.02		174	否	可	
細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	A	改善案										

【評価】 Check

課題・ 問題等	事業開始からの 環境変化	○加入率は減少傾向にあるが、依然他市と比べて高い加入率であり、市民の安全安心を守るために必要な制度である。 ○平成24年度からは山口県市町総合事務組合の制度に移行している。	前年度までの 指摘事項	共同処理により経費の節減が図られているので、実施方法を検証しながら事業を継続する。	指摘事項に対す る改善状況	
	細事業の 課題・問題点	報償金制度は、取りまとめを行っている自治会の負担となっている。		事業全体の 課題・問題点	全体の共済への加入率が減少し続けている。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由 加入率は減少傾向にあるが、依然他市と比べて高い加入率であり、市民の安全安心を守るために必要な制度である。しかしながら、報償金制度については、自治会の負担となっている側面もあるので、必要性について検討が必要。	改善案	啓発方法や自治会の加入取りまとめに対する報償金制度の必要性について検討する。
----	---	--	---	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり。
----	---	------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400301
分野	4安心安全
基本施策	3市民生活の安全性の向上
推進施策	(1)防犯運動・交通安全運動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
報償金制度については、交通共済の申込みが金融機関、報償費の受取りは市役所となっていることから、自治会の負担となっている側面もあり検討したが、これまで通りの方法以外にない。受取りにあたっての口座振替の周知を図る。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	622003	事務事業名	基金管理事業	担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる		実施計画	×
	基本施策	IV12 交通安全の推進	基本方向	各種啓発活動や交通安全教育を通して市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関と連携を取りながら交通安全対策の充実に努めます。		20年度市民評価の満足度	
	推進施策	交通安全意識の高揚				【防犯や交通安全対策の推進】	41.00%
	推進施策の展開	「交通事故0の日」の周知と交通安全を繰り返し呼び掛けることにより、市民の交通安全意識の高揚を図ります。幼児から高齢者までを対象に、正しい交通ルールやマナー等の交通安全教育を強化します。高齢者の交通事故防止のため、さらに関係機関・団体との連携を図ります。				25年度市民評価の満足度	【防犯や交通安全対策の推進】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を):	意図(どういう状態にしたい):	事業の内容 (手段)	交通安全基金利子			

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	交通安全基金利子の積み立て						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	【26年度】														
事業目標	目標名	計算式	達成項目/目標項目			単位	%	事業費	直接事業費	千円	75	75	75	75	75
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(予算額) うち一財		千円	0	0	0	0	0	0
	目標値						直接事業費		千円	32	32				
	実績値						(決算額) うち一財		千円	0	0				
	達成度(%)						正職員人件費		千円	147	148				
						人工数	人	0.02	0.02	0.04					
						支出コスト	千円	決) 179	決見) 180						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否				
	①	交通安全基金への積立 (経常的事務事業)	交通安全基金	交通安全基金への積立を行う。	交通安全基金への積立を行う。	交通安全基金への積立を行う。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.01		32	否	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
							A	改善案							
②	交通安全基金からの取崩 (経常的事務事業)	交通安全基金	交通安全基金からの取崩を行う。	交通安全基金からの取崩を行う。	交通安全基金からの取崩を行う。	交通安全基金からの取崩を行う。	0.01		0	否	否				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
						A	改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価				
	細事業の課題							改善案				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	周南市営の交通災害共済を取り扱わなくなったことから、平成23年度交通災害共済特別会計分が、交通安全基金に積み立てられた。	前年度までの指摘事項	特になし	指摘事項に対する改善状況	特になし。
	細事業の課題・問題点	特になし。適正な積立・取崩を行う。		事業全体の課題・問題点	平成25年度を以て、周南市営での交通災害共済への支払が完了したため、今後の基金の有効な使い道を検討する必要がある。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	平成25年度を以て、周南市営での交通災害共済への支払が完了したため、今後の基金の有効な使い道を検討する必要がある。	改善案	平成25年度を以て、周南市営での交通災害共済への支払が完了したため、今後の基金の有効な使い道を検討する必要がある。
----	---	--	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり。
----	---	------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400301
分野	4安心安全
基本施策	3市民生活の安全性の向上
推進施策	(1)防犯運動・交通安全運動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
平成28年度当初予算に反映した項目はなし。	

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	672007	事務事業名	地方消費者行政活性化事業費	担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者 (課長)	山本 次雄	評価責任者 (部長)	野崎 俊明
事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	補助	会計名	01一般会計				

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV15 市民相談の充実	基本方向	くらしにかかわる相談体制の強化やトラブルの未然防止のための啓発活動を積極的に推進し、市民が安心して生活できるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)相談体制の強化 (2)啓発活動の推進			【実施なし】	
	推進施策の展開	○各種研修会への派遣等により、専門相談員や職員の資質の向上を図り、市民からの相談に的確に対応できる体制強化を図ります。 ○山口県や警察、各種団体との連携を強化し、相談体制の拡充を図ります。 ○解決策の糸口を見つけ、迅速かつ的確に次に繋ぐことのできる相談のネットワークづくりに努めます。			25年度市民評価の満足度	
		【実施なし】				
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 相談員等の資質向上が図られ、複雑・巧妙化する相談対応に繋がる。 各年代にわたり積極的に消費社会に関わり自立した消費行動ができる消費者の育成につながる。	事業の内容 (手段)	○悪質・巧妙・高度化する消費生活相談対応のため、相談員等の資質向上を図る専門家による研修への受講支援 ○幼児期から高齢期までの年代に応じた消費者教育・啓発活動の総合的な推進		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	消費者啓発事業参加者数 2,554 人						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】												
事業目標	目標名	消費者啓発事業参加者数	計算式	消費者啓発事業参加者数	単位	人	直接事業費	千円	3,940	6,541	4,735	4,735	4,735
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0	0
	目標値	1,000.0	1,000.0	2,000.0	—	—	直接事業費	千円	3,940	6,541		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	1,054.0	1,861.0	2,554.0			(決算額) うち一財	千円	0	0			
	達成度(%)	105.4%	186.1%	127.7%			正職員人件費	千円	3,223	3,254			
						人工数	人	0.44	0.44	0.44			
						支出コスト	千円	決) 7,163	決見) 9,795				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費		委託	臨時嘱託	
	①	消費生活相談機能整備・機能強化事業 (経常的事務事業)	市民	相談対応力の向上を図る	センターの相談対応の充実を図り、複雑・多様化する消費者トラブルの未然防止・早期発見に繋げる	相談対応力の向上に繋がった	0.03		2,160		否	可	
	細事業の課題	■ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 ■ コスト □ その他						細事業評価					
	②	相談員等の専門知識向上支援事務 (経常的事務事業)	相談員・相談担当職員	消費生活関連の専門家による研修の受講を支援し、相談員等の資質の維持向上を図る	相談員等の相談対応力の向上を図る	悪質・巧妙化する消費生活相談における相談対応力の向上に繋がった	0.12		822		否	可	
細事業の課題	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ コスト □ その他						細事業評価						
	○悪質・巧妙化する消費者トラブルに対応するため、研修を受講し相談員等の資質の維持向上が必要。						B 改善案 専門家による研修等の受講を支援する						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H25実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否	
	③	消費者教育・啓発事業 (経常的事務事業)	市民	消費者教育・啓発活動を推進し、消費者トラブルの未然防止・拡大防止を図る	消費者教育・啓発活動を推進し、消費者トラブルの未然防止・拡大防止を図る	啓発用物品の購入、オリジナルリーフレット等を作成し啓発活動を実施。相談件数増加となる。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							0.19		3,559	否	否	
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ○悪質・巧妙化する消費者トラブルの未然防止・早期発見のため、消費者教育・啓発活動・情報発信が必要。				B	改善案	○市民対象講座等を開催し各年代に応じた消費者教育を推進する				
	④	地方消費者行政活性化交付金事務 (ソフト事業)	交付金対象事務 (地方消費者行政活性化基金管理運営要領による)	事業計画作成・交付申請、実績報告の提出 (地方消費者行政活性化交付金交付要綱による)	事業計画に基づき事業を実施	計画に基づく事業の実績報告書の提出	0.1		0	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価						
						A	改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・悪質巧妙な消費者トラブルの相談に対応するため相談員等の資質の維持向上を図る必要がある。 ・各年代に応じた消費者教育を総合的に推進し自立した消費者の育成を図る必要がある。 ・平成21年度設置された地方消費者行政活性化基金を活用して消費者行政の機能強化・体制整備を図ってきた。 ・地方消費者行政に対する国の財政措置の活用期間に関する一般準則が制定された。 	前年度までの指摘事項			指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員等の資質の維持・向上を図るため、専門家による研修への継続した受講支援が必要 ・地方消費者行政活性化基金を活用して消費者行政の機能強化・体制整備を図ってきたが、今後、国からの財政支援終了後の相談体制の維持・充実が必要 		事業全体の課題・問題点	相談員の専門的知識・技術の向上支援の継続、相談体制の維持・充実が課題。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	基金の活用期限を見据え相談体制の維持・充実を図る必要がある。	改善案	基金の活用期限を見据え、事業内容を精査し相談体制の維持・充実を図る。
----	---	--	------	--------------------------------	-----	------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	事業内容を見直しながら基金を活用していく。
----	---	-----------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400304
分野	4安心安全
基本施策	3市民生活の安全性の向上
推進施策	(4)消費者教育・啓発活動の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
消費生活センターの周知に努め、消費者トラブルの未然防止・拡大防止を図るべく、移動パネル展に取り組むこととし、支出内容を見直した。	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

			担当部・課名	環境生活部・生活安全課	評価者 (課長)	山本 次雄		評価責任者 (部長)	野崎 俊明	
事務事業コード	683014	事務事業名	基金管理事業	事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	09駐車場事業特別会計	

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる		実施計画	×			
	基本施策	IV12 交通安全の推進	基本方向	各種啓発活動や交通安全教育を通じて市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関と連携を取りながら交通安全対策の充実に努めます。		20年度市民評価の満足度				
	推進施策	安全な交通環境づくり				【実施なし】 %				
	推進施策の展開	駐車場の利用促進や関係機関の協力による取り締まりの強化等を通じて違法駐車撲滅を図ります。				25年度市民評価の満足度				
		【実施なし】 %								
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 駐車場事業		意図(どういう状態にしたい): 大規模改修工事など、施設の改修事業が発生した場合の財源をして使用できる		事業の内容 (手段)	基金の積立・取崩を行う				

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	平成26年度						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)					
	【26年度】																	
	積立額:6,025円 取崩額:0円 基金残高:15,070,089円						直接事業費	千円	25	25	25	10	25					
							(予算額) うち一財	千円	0	0	0	0	0					
事業目標	目標名	計算式			達成項目/目標項目		事業費	直接事業費	千円	10	6	対27年度増減理由		対28年度増減理由				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	0	0							
	目標値							正職員人件費	千円	147	148							
	実績値							人工数	人	0.02	0.02	0.02						
	達成度(%)							支出コスト	千円	決) 157	決見) 154							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否		
	① 駐車場事業基金への積立事務 (経常的事務事業)		駐車場事業基金		駐車場施設の整備に要する資金を積み立てる		周南市駐車場事業基金を設置し積み立てる		毎年、積立金の利子が発生し、一般会計から振替られるため、基金に積立を行う			正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否
												0.01		6				
	細事業の課題								A	改善案								
	② 駐車場事業基金からの取崩事務 (経常的事務事業)		駐車場事業基金		市営路外駐車場特別会計の財源上、必要があると認められるときに、基金取崩を行う		必要があると認められるときに、基金取崩を行う		駐車場事業基金を取崩し、市営路外駐車場特別会計の財源に振替える			0.01		0			否	否
細事業の課題								A	改善案									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否			
	③						正職員	臨時等		直接事業費	委託	臨時	
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価					
	細事業の課題							改善案					
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	特になし	前年度までの指摘事項	特になし	指摘事項に対する改善状況	特になし
		細事業の課題・問題点	特になし	事業全体の課題・問題点	駐車場施設・設備の老朽化に伴い、基金の取り崩しが増大する見込みである。	

所管課評価

評価	A	理由	改善案
	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	適切な基金の管理に努める。	

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600201
分野	6都市基盤
基本施策	2交通環境の充実
推進施策	(1)生活交通の確保・維持・充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成25年度の基金取崩による残高の減により、基金利子の減が見込まれるため、予算に反映させた。

備考

--